

平成8年3月13日第3種郵便物認可 1996年6月24日発行(第2・4月曜日発行)

聴能情報誌

みみだより

会員の誌代は会費に含まれています

第301号 第3巻
通巻386号

編集・発行人：みみだより会、立入 哉 〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2150-1-1-203 電話：0298-41-7069 FAX：0298-41-5682

「みみだより」300号に寄せて

筑波技術短期大学 大沼直紀

筑波大学心身障害学系にいて、現在我が国で最もアクティブに教育オー
ジオロジー実践研究をすすめている一人が、本誌の発行人の立入先生であ
る。立入君、300号の発刊、ごくろうさま。私はよく彼を「立入君」と
呼ぶ。単なる先輩や上司から君呼ばわりされると余り嬉しいものではな
い。しかし、私の場合、恩師の今井秀雄先生や岡本途也先生に「大沼君」
と云われて悪い気がしたことがない。立入君を私の教え子扱いしてしまっ
ては申し訳ないが、昔から私のつぶやいたアイデアや新しい用語などを
旨く盗んで書いてしまうという意味では良くできた弟子といわざるを得な
い。言うまでもなく彼はオージオロジー研究を志す同朋である。また同時
に、私の信頼できる友人(悪友)「立入君」でもある。「権腐十年」とい
うように、一つの大きな組織や権力は10年も経てば何れ本来の意義を見
失うものである。彼の「海外探検家」「起業家」「コピーライター」とし
ての十分な資質も「みみだより」が見せてくれた。「みみだより」はあく
までも立入個人情報誌であるほうがよい。聴覚障害児の「早期療育開始」
を意味する "early intervention" の原義は「早期介入」、つまり「立入」
であった。自分自身と「みみだより」に飽きてくるようなことがあった
ら、例えば海外読者も含めた斬新な題字変更を試みるなどして復活を計
ってほしい。念のため立入君らしい次のことも失わないようお願いしてお
きたい。書かずにいられないジャーナリスト魂をなくさない。書くことで
学ぶ姿勢を。出る釘は打たれると書くことをあきらめない。

最後に、「みみだより」300号達成は、立入夫人の献身があつてのこ
とと改めて感謝したい。

研究会案内

第25回 補聴器勉強会

期日：6月22日(土) 13:00 受付開始～23日(日)

会場：神戸国際会議場(三宮駅からポートライナー約10分「市民広場」下車)

プログラム：

22日 講演Ⅰ「小児言語障害(難聴を含む)への取り組み」

— 教育、医療、福祉の接点から —

木村昭氏(済生会兵庫県病院耳鼻咽喉科医長)

講演Ⅱ「補聴器の役割 — 過去、未来」

岡本途也氏(昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室名誉教授)

懇親会(参加する場合は下記の方法で申込が必要：参加費4000円)

23日 講演Ⅲ「聴覚障害教育の変遷と、これからの聴覚補償」

高橋信雄氏(愛媛大学教育学部教授)

講演Ⅳ：パネルディスカッション「阪神淡路大震災の体験」

堀田修氏(神戸市立稗田小学校きこえとことばの教室教諭)

富田篤氏(神戸ろう学校高等部教諭)

講演Ⅴ「21世紀の補聴器」補聴器メーカー協議会

参加費：5000円

参加希望者は下記の参加申し込みと同時に、郵便振替で払い込む。

番号01180-9-88667、加入者名：補聴器勉強会事務局

(懇親会参加希望者は4000を同時に払い込む)

参加申込：官製はがきに、氏名・自宅住所・電話番号・所属・所属先住所・所属先電話番号を記入の上、下記の事務局まで送る。懇親会参加希望者は、その旨、はがきに記入する。電話での申込は受け付けていない。

〒652 神戸市兵庫区水木通2-1-10 神戸市立心身障害福祉センター ひばり学園内
補聴器勉強会事務局(担当 熊谷・田中)

研究会・学会日程表 (追加分)

関東地区聾教育研究会「授業研究会」 6月21日(筑波大学附属聾学校)

補聴器勉強会 6月22・23日(神戸)

北陸地区聾教育研究大会(中間報告) 10月9日(水)(新潟県立長岡聾学校)

東海地区聾教育研究大会 10月29日(火)

関東地区聾教育研究会「国語科教育研究協議会」 11月22日(栃木聾学校)

関東地区聾教育研究会「養護訓練」 1月24日(長野聾学校)

関東地区聾教育研究会「養護訓練」 1月30日(千葉聾学校)

学会案内

第22回

日本聴能言語学会学術講演会

期日：5月31日～6月1日

会場：仙台国際センター

主催：日本聴能言語学会

日程：（聴覚障害関連の演題のみ）

5月31日

一般演題A-5「聴覚障害」14:00～16:00

「聴覚障害幼児の療育における保護者教育の有効性について」かわらご園 山内宏裕

「6歳から指導を開始した中等度難聴児の両親援助」神奈川県ろうあセンター 山内浩一

「中、軽度難聴者の就労場面における行動評価」東京都心身障害者福祉センター 筒井優子

「聴覚障害幼児による訂正方略の活用」北海道教育大学札幌校 三浦哲

5月31日 教育講演A会場 16:00～17:30

「傾聴とフォーカシングの臨床心理学」岡山大学教育学部 池見陽先生

新刊図書

手話の世界へ・現代思想

手話の世界へ オリバー・サックス著

「レナードの朝」の著作で有名なオリバー・サックスが「みんなが手話で話した島」で有名になったマーサ・ヴィンヤード島を訪れたことに始まり、ろう者の世界に触れた新鮮な思いを綴った書。私は「訳者あとがき」にある訳者の思いに共通する思いをいただいている。ろうと聴の2つの世界があるとして、お互いに相手の世界を尊重しようという思いがその訳者がこの本を選んだ理由にもなっているような気がした。佐野正信訳、昌文社、2100円。



現代思想 総特集「ろう文化」

現代思想4月臨時増刊号で、「ろう文化」を特集している。「ろう文化」という特集なのでやむを得ないかも知れないが、やや編集者の一目惚れの興味の視点を感じてしまうが、一般の機関誌に特集が組まれるようになった時代背景には拍手を送りたい。

現代思想 1996 vol.24-05、青土社、1600円。

ボランティア情報

古切手を集めて、送って

「みみだより284号」で紹介しましたJOCS（日本キリスト教海外医療協力隊）では、古切手を集めています。JOCSからは元日本聾話学校の荒井真理先生が、バングラディシユの聴覚障害児教育を支援に派遣されています。荒井先生を派遣したJOCSを支える気持ちで、ちょっとボランティアしませんか？。

- ・切手の周り5mm～1cmぐらい残して封筒から切って下さい
- ・海外の切手は「外国切手」として別に集めて下さい

集まったら、下記にお送り願います。

〒169 新宿区西早稲田2-3-18-33 日本キリスト教会館内 JOCS切手部
TEL:03-3208-2416, FAX:03-3232-6922 (JOCSでは会員も募集している)

★パレスチナ子どものキャンペーン

私がパレスチナに行くことができたのは、このNGOのお陰です。「パレスチナ子どものキャンペーン」では、イスラエルのパレスチナ自治区にアルファトナ聾学校という聾学校を開設し、運営に協力しています。平和な生活さえないような日常の中で、聴覚障害児教育をすすめていくには大きな困難があります。年会費・支援金・賛同金などの形での皆様からの支援をお願い申し上げます。

年会費は 4000円、6000円、1万円から選び送金する。賛同金は1口3000円から。

送金先：郵便振込 00160-7-177367

名義「パレスチナ子供のキャンペーン」

その他のNGO関連情報は、下記で得ることができる。

NGO活動推進センター（JANIC）

〒101 千代田区神田錦町2-9-1 斎藤ビル5F TEL:03-3294-5370, FAX:03-3294-5398

ASHAが97年1月より名称を変更！

アメリカのASHA(American Speech-Language-Hearing Association)は、今までも補聴器や聴能関連の大きな組織として活動してきたが、97年1月から、よりオーソジョロジーの面を強調する意味で、正式名称を変更することになった。

変更後の名称・・・

American Association of Speech-Language Pathology and Audiology

コストや作業時間に難

少ない文字放送

米4大ネットでは7割



Q 隣の家では、耳の遠いわじいさんがテレビの「秀吉」を字幕で楽しんでるぞうたけど、そんな放送があるのかい。

A 耳が不自由な人のための「字幕放送」だよ。テレビ欄を見てごらん。囲マークがついている番組がそうだ。一九八五年から始まっているんだよ。郵政省の「視聴覚障害者向け専門放送システムに関する調査研究会」が先日まとめた報告書は、「すべての民放に字幕放送の開始を義務つける」「生番組字幕の実用化を目指す」と提言している。

Q うちのテレビでも見られるの？

A あれではだめなんだ。字幕を見られるのは文字放送対応型のテレビだ。普通のテレビより二、三万円高い値段で売っているよ。

Q 洋画の字幕みたいなものかい。

A だいたい同じだ。ただ、見やすいようにかなり大きめの文字だし、ドラマなんかだと

と、登場人物の識別用に字幕に色をつける工夫もしているんだ。

Q 便利だけど、囲マークがついている放送って、あんまり多くないんだね。

A そう。一番多いNHK総合テレビでも、三月に放送した字幕つき番組は週に約十七時間。これは、全放送時間の一割強だ。民放は、在京キー局でも全放送時間の一割にすぎない。地方だと、民放がまったく字幕放送をしていないところが二十八道県ある。

Q なんてそんなに少ないの。



字幕放送の画面一字幕制作共同機構提供

A 字幕放送をするには、文字放送の免許が必要なんだけど、地方民放では持っていないところが結構ある。また、字幕を作るには、時間と費用がかなりかかることも放送が少ない一因になっているね。

Q そんなに手間がかかるものなの。

A 字幕の多くを作っているのは、社会福祉法人・聴力障害者情報文化センターの字幕制作共同機構というところだ。完成した番組のビデオをテレビ局から受け取ると、担当者も再生しながら字幕用の原稿にしていく。この作業は普通は一人でするため、一時間番組だと、三、四日かかる。それから、原稿をワープロのような機械で打ち込んで、放送できる形にするんだ。制作費は一時間番組で四十三万円だ。

Q そんなに時間がかかると、ニュース番組なんかは無理だね。

A ニュースなどの報道番組に対しては、聴力障害者から「字幕をつけて」という要望が強い。でも、実際に字幕がつくのは、ドラマやアニメが中心だ。アナウンサーの読むニュースをリアルタイムでワープロのような機械で入力する方法の研究も進んでいるけど、スピードや変換ミスの問題もあって、なかなか難しいようだ。でも、二カ国語同時放送のニュースは毎日やっているんだから、字幕だってなんとかして欲しいものだね。

Q 外国も、似たような状況なの。

A アメリカなどは、もっと進んでいるというよ。四大ネットワークの字幕化率は、約七〇％に達しているという。ニュースなどの生番組も含まれている。英語は字幕にしやすい、という事情もあるようだね。

駒木 明義(企画報道室)

研究会案内

第20回

九州地区

難聴・言語障害教育研究会福岡大会

大会主題

これからの難聴・言語障害教育に期待されるもの
～子どものよさを最大限に活かした援助のあり方とは～

1. 期日：平成8年8月1日（木）～2日（金）
2. 会場：福岡リーセントホテル
福岡市東区箱崎2丁目52-1、TEL:092-641-7741
3. 主催：九州地区難聴・言語障害教育研究会
福岡県難聴・言語障害教育研究会
4. 参加費：3,500円
5. 日程



[第1日目]	13:00～13:50	14:00～16:30	16:40～17:40	18:00～20:00
	開会行事	全体会 シンポジウム	各県代表者会 親の会代表者会	懇親会

[第2日目]	9:30～12:30	13:30～15:20
	分科会（提案・質疑）	研究協議・ミニレクチャー

6. シンポジウム

テーマ 『親や教師は子どもの言語発達にどう援助できるか』

シンポジスト 長澤泰子（広島大学教授）大沼直紀（筑波技術短期大学教授）
野田加奈子（北九州市立養護教育センター指導主事）
篠原誓子・緒方律子（親の会役員）
司会 石井武士（福岡教育大学障害児治療教育センター長）

- 7・分科会 ①難聴児の指導Ⅰ、②難聴児の指導Ⅱ、③構音障害児の指導、④吃音児の指導、⑤言語発達遅滞児の指導Ⅰ、⑥言語発達遅滞児の指導Ⅱ、⑦保護者との連携

	提 案	助言
①難聴児の指導Ⅰ	大 分 宮 崎	筑波技術短期大学 大沼直紀 福岡県教育委員会指導主事 松原大洋
②難聴児の指導Ⅱ	熊 本 鹿 児 島	福岡市中心身障害福祉センター 石澤博子 福岡教育大学教授 南出好史

8. 問い合わせ先 福岡市立冷泉小学校きこえとことばの教室 龍岳不二
(大会事務局) 〒812 福岡市博多区上川端町6-38 TEL:092-291-5764